



現代中国文学の風景

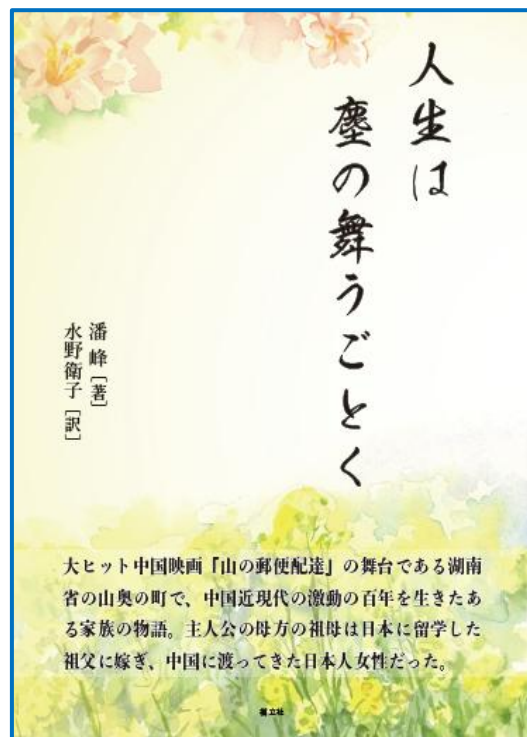
人生は塵の舞うごとく

発売 2026 年
5 月 28 日!

定価 3,600円+税
432頁 四六判 上製 C0097
ISBN978-4-910326-19-1
対象年齢 一般

➤大ヒット中国映画『山の郵便配達』の舞台となった町で、
中国近現代の激動の百年を生きたある家族の物語。

- ◆本書は、湖南省出身の作家、潘峰自身の家族史に基づいた文学作品である。物語は現代まで続き、一家の運命を、中国百年間の主要な出来事と密接に織り交ぜて綴られる。
- ◆本書に収められた百年にわたる物語は、激動の 20 世紀初頭から始まり、祖先が日本から安徽省の貴市と当土を経て、混乱の続く湖南省を旅し、最終的に湖南省の町に定住し余生を送るまでの道のりを描いている。
- ◆小説には、雪峰山、棺桶、呪術、死体の妖怪、キリスト教会、様々な軍隊が登場し、当時の中国の諸相を垣間見せる。「小南京」と呼ばれる洪江の街並みをはじめ、物語を通して神秘的で情緒あふれる情景を描き出している。



目次	
第一章 菜の花畑	第十章 誓い
第二章 日本	第十一章 手紙
第三章 戦火を逃れて	第十二章 父の訪問
第四章 雪山越え	第十三章 農村の日々
第五章 湘西	第十四章 家族は共に暮らすもの
第六章 妹を埋める	第十五章 母の棺
第七章 関羽の物語	第十六章 父の旅立ち
第八章 芸薹での日々	第十七章 水没した古城
第九章 養豚夫と女教師	第十八章 かつての旅路をたどる

【著者紹介】 潘峰 (パン フォン)

湖南省長沙出身、現在は上海在住。石油貿易に従事し、余暇に文筆活動をして各文芸誌にエッセイ、小説、マイクロ小説などを発表。そのうち、『仏仮』はその年の全国マイクロ小説十選に選ばれ、『大話股神』は自ら脚色、出資して映画化している。本作は初の長篇小説で、父親である潘一塵の口述をもとに書き上げた百年にわたる家族史でもある。潘一塵は湖南省の文化芸術分野で知られる文化人で、湖南省芸術研究所所長、瀟湘映画製作所副所長を務めた。

【訳者紹介】 水野衛子 (みずの えいこ)

慶應義塾大学文学部文学科中国文学専攻卒。1995 年より中国映画の字幕翻訳と通訳に従事。主な字幕翻訳作品『初恋のきた道』『HERO』『LOVERS』『妻への旅路』『北京ヴァイオリン』『さらば復讐の狼たち』『薬の神様じゃない』など。『蒼穹の昴』『射雕英雄伝』『新上海灘』などのテレビドラマ多数。翻訳書劉震雲『一句頂一万句』『わたしは潘金蓮じゃない』『一日三秋』、申賦漁『申の村の話』、劉曉慶『中国大女優恋の自白録』、日中対訳本『さらばわが愛霸王別姫』、孫立軍編『中国アニメーション史』など。

注文書



樹立社

FAX:03-6261-7897

現代中国文学の風景

『人生は塵の舞うごとく』

部

ISBN978-4-910326-19-1 C0097

著/潘峰

訳/水野衛子

定価：3,600円+税

432頁 四六判128×188 上製